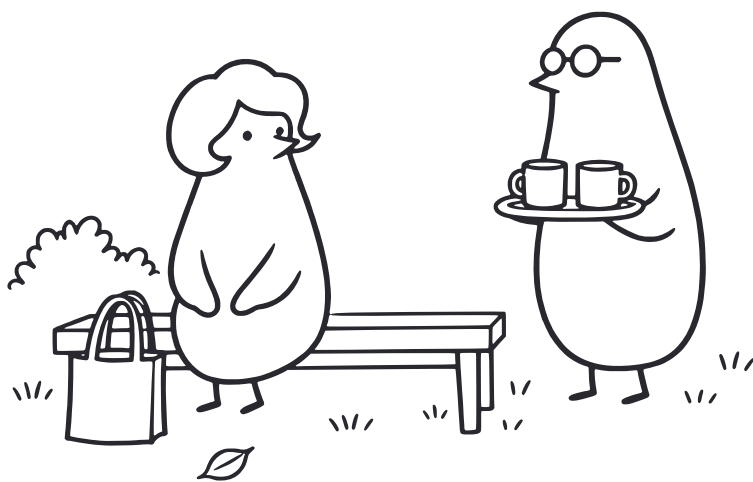


# まだ、名前のない 気持ち。



まだ、名前のない気持ち。

楽しい一日だった。

玄関でバッグを下ろすと、  
体のほうが先に、ほっとした。

「今日、どうだった？」  
ペンタさんが、本から顔を上げた。

「楽しかった。  
でも、なんだか疲れた」

